

末梢血中の LOX-1 陽性細胞の意義の検討に関する研究

1. 研究の対象

研究許可日以降に当院で治療を受けられる方

2. 研究目的・方法

血液中の白血球数が増加している子宮頸癌は予後が不良なことがわかっております。その理由として、免疫抑制細胞が増えていることがわかっております。しかし、現状では、その免疫抑制細胞が増えているかどうかを正確に判断する生物学的マーカーがありません。そのマーカーの候補として LOX-1 という受容体が挙げられています。本研究では、検査で余った血液(余剰血液)を用い、血液中の LOX-1 陽性細胞の存在の有無をフローサイトメトリーで解析します。フローサイトメトリーとは、細胞を色素のついた抗体で染色し、その光の波長を解析して、目的の物質が発現しているかを確認する方法です。この方法で細胞の LOX-1 発現を検出することができ、発現が亢進しているものを陽性とします。血液中の LOX-1 陽性細胞の有無と血液データ(例：白血球数) や予後との相関を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、年齢、身長、体重、病歴等

試料：検査で余った血液(余剰血液)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者

大阪国際がんセンター 婦人科 馬淵 誠士

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上